

四日市大学最終講義

# 市民活動が未来を拓く

2024年2月21日

---

四日市大学名誉教授      松井真理子

# 本日の内容

## 1 私と大学と市民活動

## 2 市民活動とその特徴

- ①市民活動とは
- ②市民活動の3つの機能

## 3 「市民活動が未来を拓く」と考える理由

- ①現在起こっている問題の本質
- ②コモン（社会的共通資本）
- ③自治体と自治
- ④ボランティアズム
- ⑤自由につながる力

## 4 「市民活動が未来を拓く」ために何が必要か

- ①自治体と市民活動の協働
- ②市民的専門性
- ③社会的連帯経済

# 1 私と大学と市民活動

---

- ・大学入学後の問い「自分はこれからどう生きるのか」
- ・社会的地位や財産がある人は優遇され、ない人には冷たい社会
- ・市民活動との出会い \* 1975年国際婦人年、学生運動、知事選挙等
- ・憲法ゼミの選択と「主権論」ー国民主権と人民主権
- ・「哲学者たちは世界を様々に解釈してきたただが、大切なのは  
それを**変えること**である」

マルクス「フョエルバッハに関するテーゼ」（1845年）より

# 市民活動への関わり

---

## 島根県時代（1983年～2001年）

- ・1992～1994年 自治体国際化協会ロンドン事務所への出向
- ・1995年 北京・世界女性会議NGOフォーラムへの派遣
- ・1998年 斐伊川（ひいかわ）流域環境ネットワーク設立（事務局長）

## 三重県時代（2001年～）

- ・2004年 市民社会研究所設立
- ・2006年 四日市NPOセクター会議設立（現四日市NPO協会）
- ・2011年 みえNPOネットワークセンター設立
- ・2012年 ささえあいのまち創造基金設立
- ・2016年 東海市民社会ネットワーク設立
- ・2023年 食の輪よっかいち設立

## 2 市民活動とその特徴

### ①市民活動とは



市民社会：組織化された非国家的かつ非市場的セクター（ペッカネン）

# 社会を構成する3つのセクターと「市民性」

官

政府  
自治体

民

企業  
(営利)

市民活動  
(非営利)

国民 ・ 住民



# 3つのセクターの比較

|      | 政 府<br>(非営利)         | 企 業<br>(営利) | 市 民<br>(非営利) |
|------|----------------------|-------------|--------------|
| 組織理念 | 社会的合意<br>(資源分配・政策形成) | 利益の最大化      | 社会的価値の<br>実現 |
| 行動原理 | 法令                   | 競争          | 共感 (仲間)      |
| 特 性  | 公平性<br>画一性           | 効率性<br>迅速性  | 当事者性<br>互助性  |

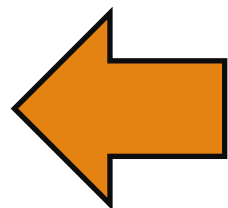
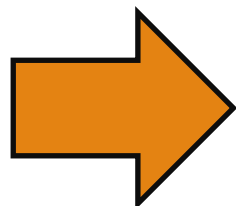
(市民性)

# 「市民性」とは

## 市民の課題

食の安全・安心  
環境問題  
子どもの問題  
高齢者の問題  
障害者の問題  
女性の問題  
外国人の問題 など

契機



対応

市民セクター

直接の当事者

共感する人々  
(お互いさま・助け合い)

自分ごと・ボランティアズム



例) 1人暮らしの高齢者の  
外出を誰が助ける？



**国  
自治体**

制度がない！  
予算がない！  
モチベーションが弱い！

**市民活動**  
地域団体  
NPO

家族がない！  
家族ではできない！

**家族**

儲からないことは  
できない！

**企業**

## ② 市民活動の3つの機能

---

### (1) サービス提供

「行政ができないこと」「企業ができないこと」「家族ができないこと」

### (2) コミュニティづくり

仲間づくり      ネットワーク      課題当事者のエンパワメント

自分たちの課題に主体的に取り組む文化づくり

### (3) アドボカシー（政策提言）

社会的課題を解決するために政府や社会に働きかけること

# サービス提供×コミュニティづくり（×アドボカシー）



ちょボラかわしま（川島地区まちづくり協議会）



子ども食堂（太陽の家）



# サービス提供×コミュニティづくり ×アドボカシー



働きにくさを抱える若者の居場所（市民社会研究所）



孤独・孤立に悩む人をだれ一人取り残さない

## 「つながり」シンポジウム

写真：ゲームを使った試みに悩む若者の居場所

### 第一部 事業報告

- ・地域若者サポートステーション（サボステ）の紹介
- ・「つながりの仕事おこし」の紹介と就労に成功した事例紹介
- ・メタバースとゲームを使った「孤立しがちな若者の居場所」の紹介
- ・多様な居場所の調査を通じた「つながりづくり」への政策提言



### 第二部 講演 『つながり』で地域の『力』を高めよう



講師：大西 連氏

1987年、東京生まれ。認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長。  
2010年頃より、ホームレス支援、生活困窮者支援に携わる。現場での支援と情報発信、  
政策提言等を市こなっている。  
2021年6月より内閣府府民参加・孤立対策担当政策委員に就任し、政府の孤立・孤立対策の  
政策立案にも参画している。  
著書に『すぐそばにある「貧困」』（2015年がプラ社）など。

### 第三部 シンポジウム『つながりのプラットフォーム』をつくろう

パネリスト

- ・株式会社デルタスタジオ 代表取締役 若林 匠也
- ・一般社団法人グローバルコース 理事 橋口 恵美
- ・北勢地域若者サポートステーション 副所長 小林 理華
- ・四日市市健康福祉部福祉総務課 福祉支援係長 山岸 孝
- ・四日市市社会福祉協議会生活支援室 室長 原田 樹子
- ・NPO法人市民社会研究所 代表理事 松井 真理子

【お問合せ】実施団体：NPO法人市民社会研究所 〒510-0066 四日市市緑町東町3-4

TEL:059-355-5115 MAIL:ssk21ww@yahoo.co.jp

【主催】三重県 NPO法人市民社会研究所 【後援】四日市市 中日新聞社



### 3 「市民活動が未来を拓く」と考える理由

#### ①現在起こっている問題の本質

##### ・格差と貧困

非正規雇用の増加と低賃金

女性・障害者・外国人等の労働問題

安価なケア労働

##### ・少子化

##### ・地域コミュニティの弱体化

##### ・孤独・孤立

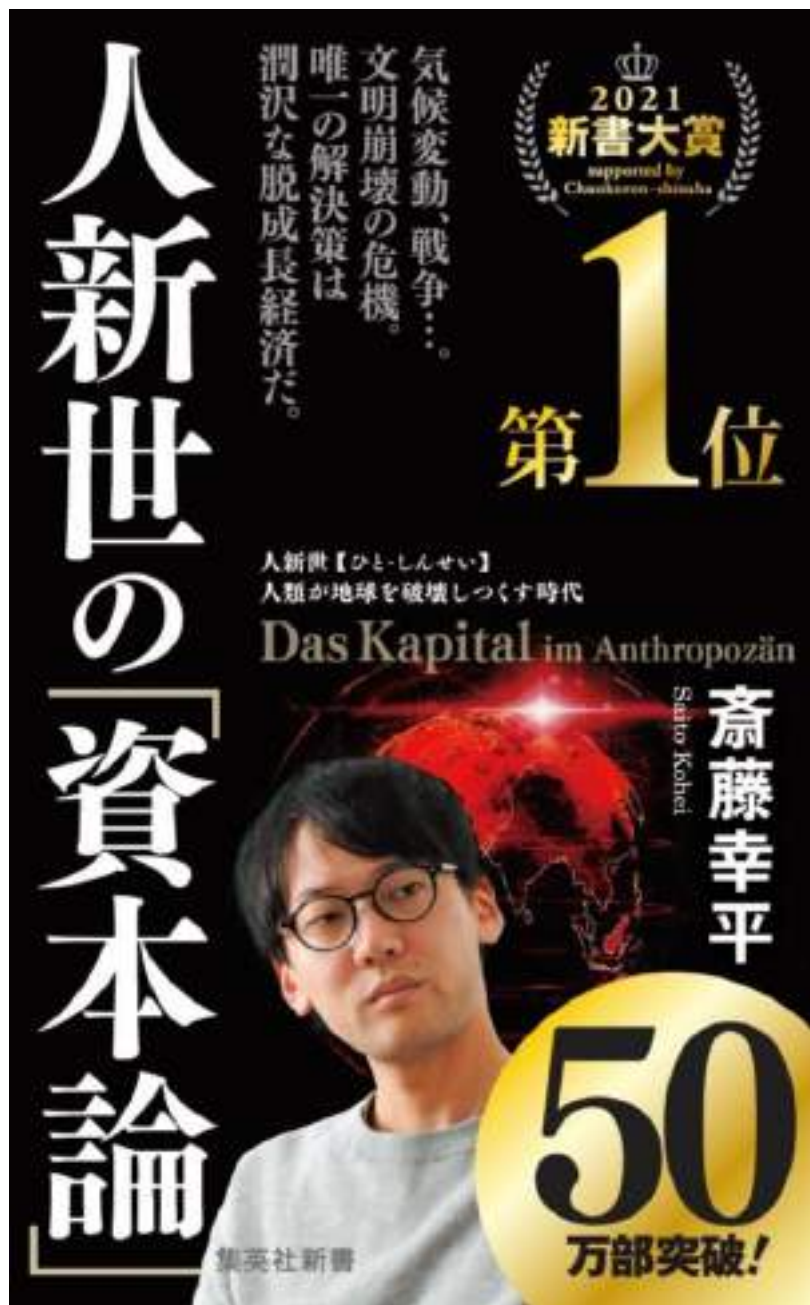
##### ・気候変動

など

##### 資本主義のひずみ

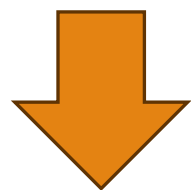
- ・規制緩和と自由競争の激化
- ・労働市場の自由化  
(転職促進、非正規化など)
- ・経済のグローバル化
- ・福祉・公共サービスの縮小・市場化
- ・自己責任論 など





「人新世」：人類の経済活動が地球を破壊  
する時代

→ 阻止するためには資本主義の際限なき  
利潤追求を止めなければならない。



コモン

脱成長コミュニズム



## ②コモン（社会的共通資本）

- 1 市場原理主義～アメリカ型新自由主義 → 行き詰まり
- 2 ソ連型国有化 → 失敗
- 3 コモン（資本主義で解体された「共」の再建）

自然環境（水・エネルギーなど）

社会インフラ（電力・交通・住居など）

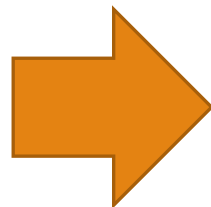
社会制度（教育・医療・福祉など）

公共財として  
市民が  
民主的に管理  
(市民営化)

担い手：人々の自発的な相互扶助組織（アソシエーション）

「自然環境」や「社会インフラ」や「社会制度」を  
「コモン（社会的共通資本）」と捉える意味

誰かから  
与えられたもの  
（受動的）



自分たちで  
創るもの  
（能動的/自治）



# コモンの「市民営化」の萌芽

## 自然環境（水・エネルギーなど）

小水力発電の取組み    竹林や森林の再生活動  
水道事業への市民参加（パリ市） など

## 社会インフラ（電力・交通・住居など）

「生活バス四日市」など地域住民による交通事業  
歩行者・自転車中心のまちづくり（アムステルダム市） など

## 社会制度（教育・医療・福祉など）

フリースクール    フードバンク    子ども食堂    認知症カフェ など

### ③自治体と自治

- ・自治体は市民の力で動かしやすい

＊「地方自治は民主政治の最良の学校」（ジェームズ・ブライス）

- ・ムニシパリズム（地域主権主義）  
草の根の市民を中心とした  
政治のあり方の根本的変革
- ・市民活動のほとんどは  
市区町村レベルで活動





# フィアレス・シティへの道

——地域主権と公共の再生をめざして

POWER  
TO THE  
PEOPLE

政府や大企業・投資家などがつくるルールの強制に抵抗し、住民の暮らしを守ろうとする自治体「フィアレス・シティ(恐れぬ自治体)」が生まれています。この講座では世界の実践を学びつつ、日本での可能性を考え、運動のネットワークを広げることを目指します。



岸本聡子



阿部裕行



内田聖子



川勝健志



萩原なつ子



伊集守直



能條桃子

●2023年6月～10月 ●金曜日 19:00～21:00 ●全9回 ●開催形式：オンライン (zoom) ●受講料：16,000円 (U25 割：5,000円)

## ④ボランティアズム～市民活動を支える原理

---

【含まれる3つの意味】→民主主義社会形成の根幹

- A ボランティアやボランティア活動の精神
- B 主意主義（⇔ 主知主義・主情主義）  
人間の「意志」「主体性」の働きを重視
- C 国や行政から独立しつつ共存する立場や関係性

岡本榮一「ボランタリーな活動の社会的価値の追求」より

大阪ボランティア協会 「ボランティアズム研究」創刊号（2011年）

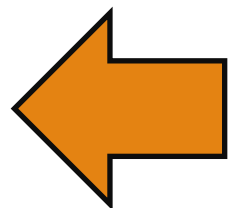
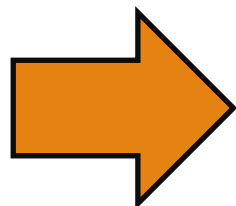


# 「市民性」とボランティア

## 市民の課題

食の安全・安心  
環境問題  
子どもの問題  
高齢者の問題  
障害者の問題  
女性の問題  
外国人の問題 など

契機



対応

市民セクター

直接の当事者

共感する人々  
(お互いさま・助け合い)

自分ごと・ボランティア



# ⑤自由につながる力

「仕事おこし人(個人・団体)」ネットワーク



# メモリーカフェ'日永'のつながり

NPO法人  
四日市男女共同  
参画研究所

日永地区住民  
ボランティア/認知症  
サポーター

四日市市  
南包括支援センター  
日永地区市民センター

NPO法人体験ひろば  
こどもスペース四日市

認知症の人と家族  
その支援者

日永地区連合自治会  
民生児童委員

認知症の人と家族の会  
三重県支部

四日市市社会福祉協議会

社会福祉法人  
英水苑

三原クリニック（専門医）

三菱ガス化学

訪問看護ステーション



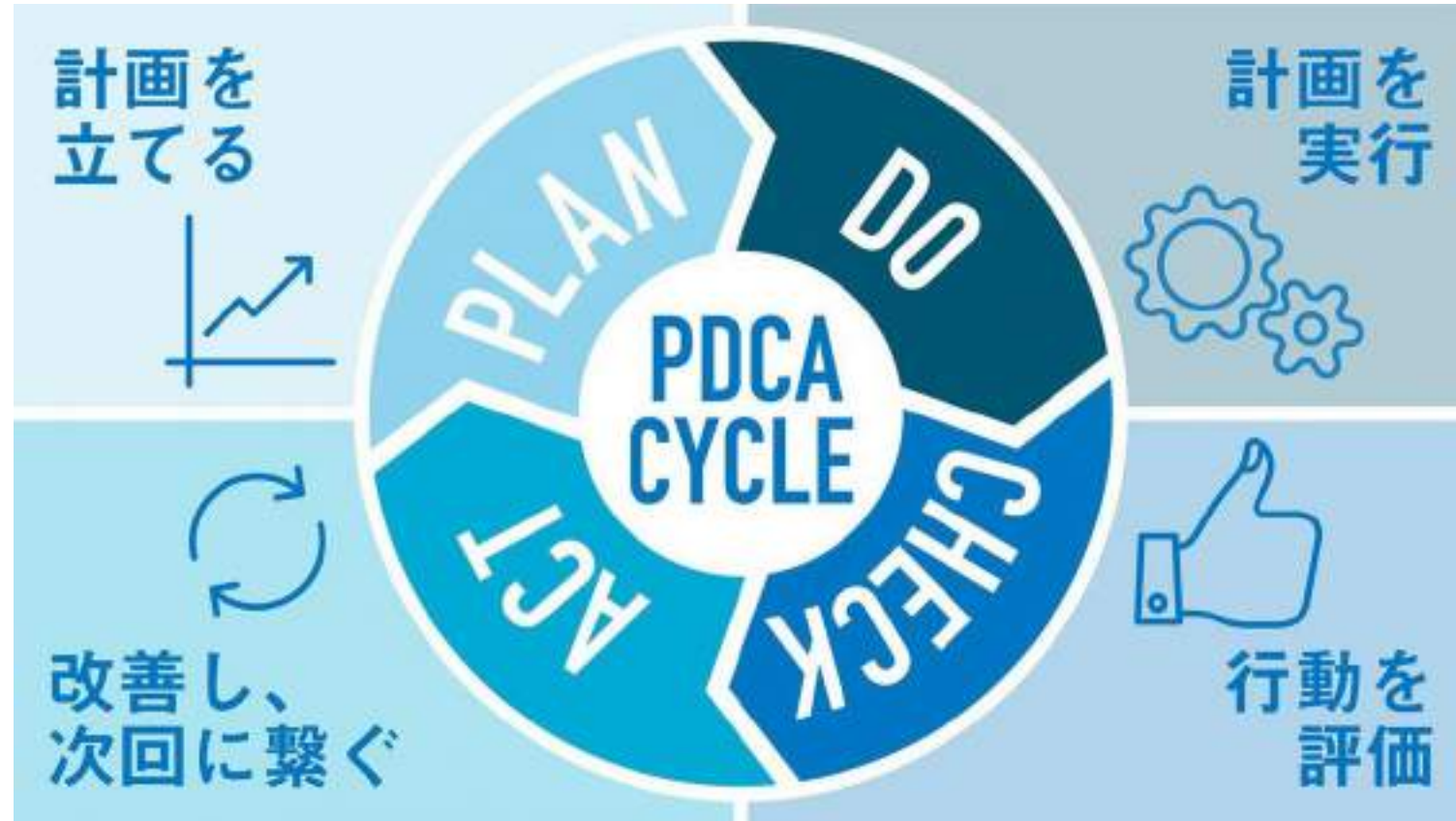
# 4 「市民活動が未来を拓く」ために何が必要か

## ①自治体と市民の協働

- ・PDCAの各プロセスでの協働が必要

＊特にPLAN（政策対話）

- ・議会との協働も必要



## ②市民活動の「市民的専門性」を高める

---

「市民的専門性」：現場での体験・学習を基盤とする  
市民団体固有の問題解決能力

### 「市民活動しかできないこと」への理解と自覚

- ・課題の発見 → ボランタリズムに基づく自発的な取り組み
  - ・縦割りではない自由で斬新なアイディア
  - ・幅広い人々とのネットワーク



今の「当たり前」は  
誰かの「ほっとけない」から始まっている...

## 国や自治体の政策

→自治体の政策課題に  
→社会全体の課題に

社会的認知

↑  
「現状の協働」の領域  
制度や税金でも支える  
事が可能な状態

## 市民活動

仲間で行く

社会にひろげる

気づき／ほっとけない

↑  
市民にしかできない領域  
課題に気づいた人が  
「ほっとけない」と行動

資料：  
（公財）京都地域創造基金  
代表 深尾昌峰氏

### ③社会的連帯経済～新しい経済活動を創る

◎ 社会的経済：民主的に運営される組織による経済活動  
＊ 協同組合を中心的な担い手とする組織概念

◎ 連帯経済：連帯関係が組み込まれた経済活動  
＊ 新自由主義的経済に対抗する運動概念  
＊ 特に社会的疎外に苦しむ人を包摂

コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス、労働者協同組合 など

# 社会的連帯経済のポイント

参考：藤井敦史編著『社会的連帯経済』 2022年

- ①顔の見える市民の連帯関係がベース
- ②人と人、人と自然の関係を重視し、生命や生活を支える事業
- ③自治体とのパートナーシップ～ムニシパリティとの親和性

地域の資源が  
循環する  
エシカルな事業

障害がある人が  
収入を得る事業

生活困窮者の  
生活や自立を  
支援する事業

地域の特性を  
生かした地域の  
人々による事業

社会的連帯経済が育つ仕組みが必要

おわりにーあなたはどの人ですか？

課題への気づき

A →

「ほっとけない」と立ち上がる人

B →

リーダーについて行動する人

C →

自分のできる範囲で応援する人

D →

気づいても何もしない人（傍観者）

E 課題に気づかない人



ご清聴  
ありがとうございました

四日市大学時代の様々なご支援に  
心より御礼申し上げます